

賛助会員会報

第148号

令和5年(2023年)11月30日

発行者

公益財団法人長野県長寿社会開発センター
木曾地区賛助会 会長 田代 幸子

〒397-8550

木曾郡 木曾町福島 2757-1

木曾保健福祉事務福祉課内

電話 0264-25-2218 FAX 0264-24-2350

Eメール kiso@nicesenior.or.jp

今年も☀ 熱戦が展開されました



10/3 スポーツ交流会 (マレットゴルフ大会) 結果

於：大桑村スポーツ公園マレットゴルフ場

参加者46名(事務局含む) うちシニア大学生1年4名 2年14名

優勝:勝野 次男さん(68) **準優勝**:櫻井 秀夫さん(71) 3位:松原美香子さん(71)

()の数字はスコアです 年齢ではありません

敢闘賞:勝野 誠吾さん

ホールインワン賞:戸田 裕子さん(16番ホール)

敢闘賞:大道 順子さん



- ・今年はグループの枠をはずしたことで、幅広い交流が生まれました。
- ・JA 木曾様には今年も白菜1ケースをご提供いただき閉会式が大いに盛り上がりました。心より感謝申し上げます。

賛助会活動グループ交流会(8/30)～

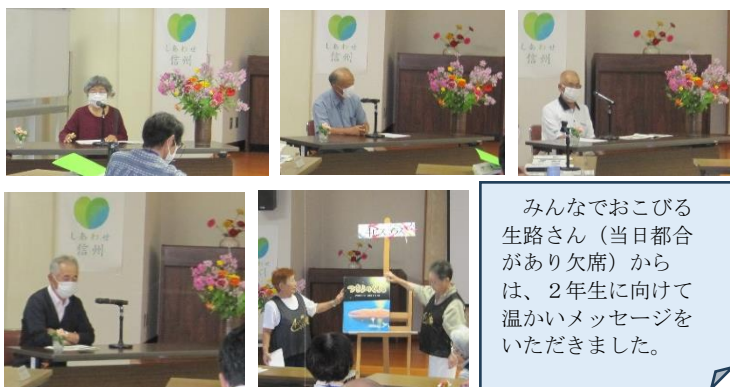
シニア大学2年生講座(9/13)の様子

平成30年度に発足した「賛助会活動グループ交流会」ですが、コロナ禍もあってしばらく行えませんでした。昨年度数年ぶりに再開することができ、この取組は賛助会の縦（世代を超えた）のつながりをより強くするものであること、そしてシニア大2年生には賛助会（活動グループ）を理解してもらい、加入促進につながる大切なものであることが再認識されました。

今年度も8/30に活動グループ交流会（全グループ長・幹事代表参加）を行い、発表内容を確認し合ったうえで、9/13シニア大学2年生講座「賛助会活動の実際」に臨みました。

8 / 30

長寿本部より、宮村常務もお見えになり、他支部から出された県全体に係る提案等についても話し合いました。



みんなでおこびる生路さん（当日都合があり欠席）からは、2年生に向けて温かいメッセージをいただきました。

9 / 13

賛助会各グループ長さんを中心に、特色ある取組についての発表がされました。成果だけでなく、苦労されている点や課題なども話され、2年生はじっくりと耳を傾けていました。2年生からの率直な質問にも丁寧に答えてくださいました。

最後は、ボランティアブラボー松本さんのハーモニカ演奏に合わせて、全員で♪とんぼのめがね♪を合唱し、閉会となりました。



賛助会活動グループの様子 2

昨年度「賛助会会員会報 145 号」で、コロナ禍の中ではあるけれどもできることから無理せず徐々に活動を進めてくださっているいくつかのグループを紹介させていただきました。今号でも同様に、4つのグループの様子をお伝えしたいと思います。

みんなでおこびる



☆次の手紙は、9 / 13のシニア大学2年生講座「賛助会活動の実際」にご都合があり出席ができなかったグループ長の生路さんから2年生のためにということで届けていただいたものです。様々なご事情で集まることが難しくなったりする中で、活動を安定化させるためにどんな工夫をされてきたか、他グループの皆さんにも参考になる内容だと思います。そして何より、シニア大生のために、わざわざ手紙を書いてくださるというその心持ちに感動しました。お読みください。

こんにちは！私たちは「みんなでおこびる」というグループです。‘おこびる’というのは「ちょっとひと休みしてくつろぎ、もうひとがんばりしましょう！」というような意味があるということで、決めました。

本来の目的は、もうひとがんばりする場所は、福祉施設とか人の集まる場面でということでしたが、今のところそれは実現できず、メンバーでハーモニカの（演）奏力を磨いている状態です。

木祖村・上松町・大桑村にそれぞれ2名ずつメンバーがおり、月1回集まって練習しています。現在6名全員が、働いたり、地域のボランティア活動に参加したりしていますので、今までは練習日の設定に苦慮してきましたが、4年目の今年から、毎月第4木曜日と決め、やっと安定しました。

全員賛助会の会員で、活動費（補助）を受け取っておりますので、ハーモニカ・教則本の購入、練習会場の会場費などとして活用しています。大切な財源です。

ハーモニカは本来「歌える曲は、たいてい演奏できる」という楽器ですので、そこを目指して練習に励んでいます。問題は、月1回の練習日以外の日に家庭で練習して力をつけるというところが、なかなか実現できていないところです。しかし、月1回の練習日は、メンバーの演奏にエールを贈りあって楽しく実施できています。力の差はありますが、そこが刺激にもなり、また教えあったりもでき、いい感じで練習しています。

次なる目標は、（演）奏力を磨き、みんなで人前で演奏し、みなさんの楽しい時間に少しでもお力添えができるようになりたいということです。現在使っているハーモニカは、1本だけです。C調と言い、ハ長調の曲しか演奏できません。ここにマイナーのハーモニカを加え、演奏の幅を広げたいと、グループ長の私としては、心ひそかに願っているところです。マイナーのハーモニカを使えば「演歌」だって吹けます。演奏対象はぐ〜んと広がります。そして、いつかみんなで人前で演奏できるよう、これからも練習に励んで参ろうと考えています。

本日は出席できませんので、文書にて参加させていただきます。2年生の皆さんの、今後のご活躍を祈っています。

みんなでおこびるグループ長 生路 光子

美男・美女・美花

☆「美男・美女・美花」グループの皆さんは、グレイスフル日義での環境美化・花壇づくりに取り組まれています。目的と活動内容が明確で参加しやすいことが、長く続けてこられている原因だと思います。今年は事務局も活動に参加させていただき、気持ちの良い汗をたっぷり流しました。



8 / 28

庭木の剪定作業・草取り



6 / 27

花壇づくり・プランターへの花の移植と休憩タイム



ひまわりの会



☆グループの特徴は、複数（8）の班活動による社会参加活動の実施による個人の生きがいづくりにあります。また、定期的に全員参加の会合を持ち、情報共有と活動意欲の高揚をはかっています。6月にはコロナ禍でかなわなかった県外への修学旅行を二年越しに実施するなど、たいへん活発に活動されています。



R4. 2/20 定例打合せ



9/26 フランネルの会 日義子ども園



7/13 有志で木祖村



6/8,9 本当の修学旅行：大井川蓬莱橋



本当の修学旅行：日本平夢テラス

イレブン



☆今年度から賛助会加入のシニア大学41回生グループです。イレブンの名のとおり卒業生11名全員が加入されました。活動目標を、おいし！たのし！まなび！地域貢献！健康促進！と決め、郡内各地でゴミ拾いボランティアをしながら、おいしい郷土食を味わったり、博物館や地場産業の現場を訪ねたり、歴史の勉強もしたりしながら充実した取組をすすめています。



9/1 須原：駅前打合せ



7/29 開田高原：合庁前打合せ

開田高原…361号線ゴミ拾い



須原：水舟前で休憩



開田高原：熊野神社



須原：定勝寺清掃



須原：本陣昼食・次回打合せ

第28回木曾地域シニア作品展開催

11月18日(土)、19日(日)の2日間、上松町ひのきの里総合文化センターにてシニア作品展が開催されました。今年は平成17年以来、18年ぶりの土・日開催となりました。

今年の出展数は、昨年度とほぼ同じ、総数212点の出展がありました。出品して下さった皆様、ご来場いただきました皆様、会場準備、片づけ、受付、会場警備等にご協力いただきました実行委員の皆様、賛助会員をはじめすべての皆様に厚く感謝申し上げます。

会場の様子



○音楽室には、2023 長野県シニア作品展の郡内入賞者作品が展示されました。



長野県シニアクラブ連合会会長賞
「釈迦三尊」 岩井 孝雄さん(木曾町)



長野県共同募金会会長賞
「阿羅漢八部衆」 野村 武敏さん(上松町)



上田市長賞「静寂御嶽山」
磯尾 順次さん(木曾町)



賛助会講演会とウクライナの子どもたちの絵画展

「日本チェルノブイリ連帯基金ウクライナ避難民報告」

講師 日本チェルノブイリ連帯基金 横内 香苗 先生

11月18日(土)にシニア作品展と同時開催しました賛助会講演会には、シニア大学生と賛助会員の他一般の方も含め、56名の皆様にお集まりいただきました。

講演では、かつてチェルノブイリ原発事故で避難を余儀なくされた人たちが、今回のロシア侵攻によって再び避難されている例があることを話され、現在の様子なども具体的な写真や手紙等で紹介してくださいました。また、隣国ポーランドには300万人の避難民が入ったそうですが、難民キャンプが全く作られなかったという事実から、民間はじめ受け入れ施設がたくさん用意された国としての支援体制の素晴らしさがあったこともわかりました。避難した子どもたちが避難先の生活に溶け込み、学びを続けられていることに少し救われた部分もありましたが、どういう形でこの戦争を終わらせられるのか、本当に難しい問題であると再認識しました。

一階のメイン会場に飾られたウクライナの子どもたちの絵についても、その背景にある現在の生活や心情についても説明を加えていただきました。講演後に、あらためて絵を鑑賞する参加者のみなさんもたくさんいました。

参加された方々の感想を一部紹介させていただきます。

・いまこの時、ウクライナに関する講演を聞くことができることは、常に心配しているだけで何もできない自分にとって有意義なことだと思った。ポストカード、CDを購入することで応援することができればと思い、参加させてもらった。チェルノブイリのお仕事で、神宮寺の高橋卓志さんがおられますが、いま闘病ということが信毎にあります。心より、少しでも快方に向かいますようお祈りしています。

・子どもたちの絵を見た後にウクライナ避難民のお話を聞いたので、子どもたちの幸せを願わずにはいられません。「知ることから始めよう」という言葉が印象に残りました。貴重な講演だったと思います。

・ウクライナ、パレスチナの子どもたち、夢のある未来あるはずの子どもたちが真っ先に犠牲となってしまう。なぜ、命を優先できないのか、なぜ戦争は終わらないのか、何もできない自分がいる。情けない。講演はたいへん興味深く、子どもたちの絵は純粋で心を打たれた。講師の活躍を応援している。

・同じ地球上の同じ時間を過ごしているのに、あまりにも違う現実に驚く。日本としていつ何が起きるかわからない。他人事ではなく、自分事として、情報過多の日常の中で、見失わないよう、平和への思いを形にしたい。

・動画と写真、初めて見るものばかりです。見て知ることが大事。ありがとうございます。ここを一つの出発点。木曾の人たちの平和へ向けた(非戦)の繋がりを始めていきたいです。

・平和とは、我々が(自分が)何をもって平和というのか、テレビのニュースを見て、子どもたちの悲しい泣き声を聞くと心が痛い。私に何ができるのか考えてみたい。

・日本チェルノブイリ連帯基金の活動について知ることができた。子どもたちへの支援が、やりたいことや夢へつながっていき、子どもの描いた絵に心打たれました。動画では、むじゃきな子どもたちの姿に少し救われる思いでした。早く世界が平和になってほしいと強く思います。



編集後記



今年は記録的な猛暑が長く続き、雨量も少なかったせいか松茸が不作で、道の駅にあまり出回っていませんでした。紅葉もかなり遅く、いまいかなるところに11月半ば急に冷え込んできて冬到来を感じています。

今年一番の快拳、二刀流 メジャーリーグの大谷翔平選手が史上初となる二度目の満票 MVP を獲得されました。

まもなく2024年度を迎えますが、ウクライナ問題をはじめ世界的な紛争が解決し平和な年になりますことを願ひ、編集後記とします。

(会報担当幹事 横道 澄子)